ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金沢北ロータリークラブ
例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：卯辰山・ホワイトハウス
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉22-2525
会長：若野三朗　幹事：吉山宥海
情報委員長：清水　忠

1979・1月18日　第132号

弓削説話と加賀の精神文化

金沢大学教授　原田行造先生

平安時代初期のことである。
加賀の国大聖寺の近郊鴨原に生を享けた千代鶴丸は、万気爆発の少年であった。

弓を以て打ちすえるような父親の厳しい仕打ちにも耐え、13才にして都へ上る。比叡山延暦寺で修行を重ねながら頭角をあらわし、苦節40年、遂には位人臣をきわめ、延昌僧正を号して第15代天台座主という最高の地位に立つ。

特筆すべきは彼の死際である。
弓削説話によれば、阿弥陀仏とテープで結び、極楽浄土への往生を願った彼のいわゆる糸引き往生の手法は、そのまつ恵心僧都（源信）や藤原道長の踏襲するところとなった。浄土教の鼻祖源信や栄燿並ぶことなき摂政道長、こういった平安朝最高の思想家や政治家に色濃い影響を与えたのが、加賀の国の人間であったことに、尽きせぬ興味を憶えざるを得ない。

今日、人々は加賀の文化の源流を、前田百万石の伝統工芸に求めようとする。いわく謡曲、茶道、華道そしてその道具としての工芸の数々。

しかし、それは京都から移入された平安王朝文化の亜流としての色彩を持つ。

之とは全く逆に、京都の思想文化に対して加賀の浄土教的精神文化を強く知らしめた此の千代鶴丸の快挙は、〝地方の時代〟における文化のあり方を示唆するものとして、大きな今日的意味を持つものと云わねばならない。

―金沢北RC例会講話から―（文責　清水 忠）

ふるさとシリーズ〝橋〟
⑩ 図月橋（尾山神社）

加賀藩祖前田利家公をまつる尾山神社。この神社の〝目玉〟ともいえる「池泉廻遊庭園」の池に架けられている。木橋の琴橋、八ツ橋とある中で、レンガ造りの半月状の形と黒ずんだかっ色は重々しく場所柄、一種独特の風情をかもし出している。何となく渡ってみたくなるこの図月橋は加賀藩の往時をしのぶ庭園とともに観光客の、魅力でもある。

私の名刺

石丸　幹夫

専門領域の中でも、特に興味をもっているのは鼻の手術ですが、専門馬鹿にならないように、めまい、扁桃、アレルギー、細菌感染症の問題にも、意欲的に取り組んでいます。昭和32年に金大医学部を出ましたが、当時、年間手術件数が日本一多いといわれた国立金沢病院耳鼻咽喉科（種村竜夫院長）に入り、毎日へとへとになるまで手術をしておりました。若野会長はそこでの先輩でもあります。その後、鳴和病院医長としてすごし、昭和41年に開業しました。

少年時代を福井市（旧森田町）にすごし、戦中福井中学そして戦後は藤島高に学びました。こゝで福井大地震（昭和23年）にあい、父（福井市相模病院　相模嘉平）の病院は全壊しました。その当時、父は今の私と同年令の45才でしたから私もそのつもりで頑張らねばと思っています。

昭和33年、石丸家（父、士郎、金大名誉教授　解剖学）をつぎ、母　永美、妻　恭子、長男　正　長女　礼乃の６人家族です。

趣味はレコード、写真、野球、水泳、登山、弓道、とめまぐるしく移り変り、今ではバドミントンに落着いています。医院の三階にコートをつくり、昼休みは職員と夜はクラブ員（瓢友クラブ、部員34名）とゲームをやっています。家内や職員も県家庭婦人大会に出て賞をとったりしていますし、私も県の実業団大会壮年の部に出場したりして、はりきっています。ロータリークラブの皆様や奥様方も遊びに来て下さい。

現在、金沢市バドミントン協会副会長、石川県家庭婦人バドミントン連盟顧門、瓢箪町公民館運営委員、同スポーツ指導員、日本バドミントン協会二級審判員、弓道初段、金大医学部弓道部後援会幹事などやっています。

スポーツ活動の他には、小坂小、浅野小、瓢箪小、鳴和中、金大付属幼稚園・小学・中学・高校養護学校、明和養護学校校医。そして桜ケ丘高校健診医と毎年春になると学校健診にあけくれています。

私の医院はベット８床、職員10名と小じんまりしていますが、税金問題などマスコミの風当りのつよい開業医として、少しでも良心的医療をし、ロータリーの精神、職業奉仕を全うすべく努力するつもりであります。

皆様の御指導をお願いいたします。

外国の　種はもかくは　栄え来て　咲き出づる花は　神ぞみるらむ
かへりみる　者はおろかしと　つきのけて　走せ行く人ら　何処さすらむ
足るだけに　もの言いおかむ　人の子の　さまざまなるに　胸はかよはじ

米山梅吉選集より

ロータリーへの提言

活力ある文教都市の創造を

清　水　　忠

ごく最近、金沢大学の総合移転が決った。わが国で唯一つ、世界でもハイデルベルヒと共に唯二つ、城の中の大学といわれた金沢大学が、新しい用地を求めて城外に出るという画期的な方針を、大学自体が決定した訳である。その背景には、大学の拡充を図ろうとする構想の中で、もはや城内キャンパスが狭くて、どうしても外へ出なければならないという大学の事情があったことは確かである。新しいキャンパスは、大学自身の判断で、地元の合意を得て何れ決定するだろう。

問題は、この金沢大沢の拡充を、金沢市民が、そして石川県民が、どのように受けとめるべきかということである。

私は、之こそ金沢の今後数年の開発の中で、最も大きな事業の一つになるのではないかという気がする。確かに、北陸新幹線や市街地再開発も大変大切な課題である。しかし、それは都市の基盤整備の条件ではあっても、全国どこの都市にもあてはまることであり、敢えて個性豊かな人間性の息づいた金沢の顔を創る所以ではない。

都市に顔があり、像というものがあるとすれば、金沢の顔、金沢の都市像は、活力ある教育文化の中心ということではないだろうか。

金沢には、「天下の書府」といわれた藩政時代から、金沢医大、四高をはじめ、数多の高等教育機関が光芒を放っていた戦前を経て、十一の大学を持つ現在に至るまで、日本海側でも有数の学園都市としての積み重ねがある。四季折々に、その美しさをたゝえる重厚で陰翳の深い文化的風土がある。そして、その中で、四百年にわたって市民が営々として築き上げて来た香り高い文化の遺産が幸いにも戦火を受けることなく脈々として息づいている。

過ぎ去った歴史をふり返り、もはや高度成長に依存することのむずかしい現在を踏まえて金沢の将来像を展望する時、日本海側の教育文化の中心都市として金沢の顔を創り上げて行くことは、今われわれに託された後世への責務ではないだろうか。

このような考え方に立つ時、われわれはまず、この文教の中核的存在であり、国立総合大学である金沢大学の整備拡充に協力するのは当然といわねばならない。

それでは、地域は、どのように大学に協力するのか。私は、金沢大学と地域の接点として、地域がなし得る最良の協力の方法は、学術文化財団の設立であると思う。

京都に、京都大学人文科学研究所があり、札幌には、北海道大学北方文化研究所があり、夫々、地域のために又世界のために貢献している。

金沢には、西田幾多郎という、恐らく今世紀のわが国の哲学者の中でも最高峰の逸材を頂点とする大変ユニークな文化の系譜がある。

この土壌を踏まえて、新しい文化の殿堂を創り、大学を定年になった全国各地の優秀な学者を集めて、じっくりと学術研究に取り組んでもらう。その成果を出版したり、市民のためにセミナーや講演会を開いたり、学術書を購入したり、盛り込む内容はいくらでもある。

いずれにしても、そういった純粋な文化事業の展開こそが、活力ある文教都市金沢の創造の大きな引金になることは間違いないだろう。

今われわれは、長期的不況の真只中にある。今日的課題への対応だけで精一杯というのが実情かも知れない。

しかし、一見無縁に見えるこういった文化への志向が、われわれにどうしても必要だと気ずく時期が、何れ必ず来るにちがいない。

ここらで一つ視点を変えて、文化の問題を見直すのも、経済人には大切なことではないだろうか。

第263回例会 新年会

◆1月6日㈯晴　ホワイトハウス　18:00～20:00

1．出　　欠　出席40名、欠席13名、出席率75.47%
　　ビジター1名（金沢RC 碓井貞敏君）

2．幹事報告　共同募金会よりお礼状をいただきました

3．御誕生日祝　浅野弘明君、石丸幹夫君、市川則人君

4．御結婚記念日祝　笠間恒次君、宮崎芳弘君
　　下村義明君、岡部三郎君

5．ニコニコBOX　○誕生日と皆出席を記念して
　　浅野弘明君
　　○X'マス家族会無事終了して　佃一成君
　　○誕生日祝ありがとうございます　石丸幹夫君
　　○家族一同無事越年しました事を感謝して　吉山宥海君
　　○新年の御挨拶を申し上げます　小杉善二君
　　○X'マス家族会でモリワン賞があたり、ステキなジャケットをいただきました　本江他美夫君
　　○本日当店の仕事はじめで社員一同元気に初顔合せ出来ました　佃一成君
　　○年男、迷わざる羊にならう　山岸与作君

6．今日のニュース　ロッキード事件での黒い霧がいっこうに晴れないまま、54年を迎えた新年早々、米証券取引委員会がこんどはダグラス社に続いてグラマン社も海外不正支払いが行なわれ、日本高官にもコミッションの一部が贈られた可能性があることを公表した。

第264回例会

◆1月11日㈭晴　ホワイトハウス　12:30～13:30

1．講　　話　「職業奉仕について」
　　会員　岡田林太郎君

2．出　　欠　出席41名、欠席12名、出席率77.36%
　　ビジター14名

3．来 訪 者　河北RC　塩谷孝信君（鋳造）
　　金沢RC　河野良三君、加藤晃君
　　金沢東RC　石動隆信君、平野知康君
　　新名健吉君
　　金沢西RC　坂本宗一郎君、中村吉輝君
　　秋常外喜雄君
　　金沢南RC　辻弘君、西岡末章君
　　西原雅君、佐々木康雄君
　　柿木英夫君

4．幹事報告　○金沢消防団より感謝状拝受
　　○ロータリー事務局の電話番号が、直通22-2525となりましたので、ご利用下さい。商工会議所の内線番号は一月で廃止となります。

5．ニコニコBOX
　　○1月1日台湾の台中市神社で一番の大吉おみくじが出ました　越野民男君
　　○1月10日MROTVにインタビューを受け出演しました　佃一成君
　　○皆出席2ヶ年をうけました
　　上田忠信君、沢田哲夫君

6．今日のニュース　カンボジアのポル・ポト政権はベトナム正規軍に支援されたカンボジア救国民族統一戦線によって首都プノンペンを制圧され、事実上崩壊した。この電撃的進撃は、アジアの力の均衡を根底から揺さぶり、各国に強い衝撃を与える。

12月例会出席状況

出席率 98.11%

会員名＼月日	12/7	12/14	12/21	12/25		12月
浅田豊久	M	○	○	M		◎
浅野弘明	○	○	○	○		◎
出島敬識	○	M	○	M		◎
橋場幸一	○	○	○	M		◎
東元潔	○	○	欠	欠		×
平尾信明	○	○	○	M		◎
本江他美夫	○	○	○	○		◎
二木正樹	○	○	○	○		◎
飯野健志	○	○	○	○		◎
市川則人	○	○	○	○		◎
石丸幹夫	○	○	○	○		◎
上次作	○	○	○	○		◎
笠間恒次	○	M	○	○		◎
木島光仁	○	○	○	M		◎
木下和吉	M	○	○	○		◎
小林隆二	○	○	○	○		◎
小杉善二	○	○	○	○		◎
小杉守男	○	M	M	○		◎
越野民男	○	○	○	○		◎
増江泰	○	○	○	○		◎
益谷健夫	○	○	○	M		◎
水野博	○	○	○	M		◎
本岡三千郎	○	○	○	○		◎
宮崎芳弘	○	○	○	M		◎
宗田市太郎	M	○	○	○		◎
中村省三	○	○	○	○		◎
大場勝雄	○	M	○	M		◎

会員名＼月日	12/7	12/14	12/21	12/25		12月
岡部三郎	○	M	○	M		◎
岡田林太郎	○	○	○	○		◎
大村精二	○	M	○	○		◎
桜井健太郎	○	○	○	M		◎
沢田哲夫	○	○	○	○		◎
柴田三郎	○	M	○	○		◎
清水忠	○	○	○	M		◎
塩村喜代次	○	○	○	○		◎
下村義明	○	○	○	○		◎
庄田厚郎	M	M	M	○		◎
高田全	○	○	M	M		◎
高他達郎	○	○	○	○		◎
俵外代吉	M	○	○	○		◎
土原一二	○	○	○	○		◎
佃一成	○	M	○	○		◎
釣見栄一	M	○	○	○		◎
上田忠信	○	○	○	○		◎
魚住安彦	○	○	○	M		◎
若野三朗	○	○	○	○		◎
山上啓介	○	○	○	M		◎
山岸与作	○	M	○	○		◎
米沢繁男	M	欠	欠	欠		×
米沢修一	○	○	○	○		◎
吉田昭炳	M	○	○	M		◎
由井賢一	○	M	M	○		◎
吉山宥海	○	○	○	○		◎